

研究へのご協力をお願い

研究課題名

「片側性唇顎口蓋裂患者と上顎劣成長を伴う骨格性反対咬合患者における軟組織側貌の相違」

東京歯科大学 歯科矯正学講座

研究責任者：准教授・石井武展

この度、東京歯科大学歯科矯正学講座において下記の内容にて研究を行うこととなりました。本書面をご一読いただき、本研究の趣旨、内容をご理解いただけましたら、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって患者様が不利益な扱いを受けることはございません。

1. 研究目的と意義

片側性唇顎口蓋裂患者様では、上あごの成長や鼻・上唇の形態に特徴的な変化がみられることがあります。一方、片側性唇顎口蓋裂のない骨格性反対咬合患者様では、下あごの突出やオトガイ部形態が主に問題となることが多く、同じ「反対咬合（受け口）」であっても顔貌（とくに横顔）の特徴は異なる可能性があります。

本研究では、すでに撮影および患者様へ説明されているレントゲン写真（セファログラム）を用いて、片側性唇顎口蓋裂を伴う反対咬合と、一般的な反対咬合では、軟組織の横顔にどのような違いがあるかを明らかにすることを目的としています。

この成果は、将来の矯正治療・顎矯正手術の計画立案に役立ち、より適切な治療選択に貢献できると考えられます。

2. 研究方法

<この研究にご参加いただく方>

2021年3月～2025年9月に東京歯科大学千葉歯科医療センター矯正歯科または東京歯科大学水道橋病院矯正歯科で矯正診断を受けた患者様のうち、片側性唇顎口蓋裂で骨格性反対咬合を有する患者様（約30名程度）と片側性唇顎口蓋裂のない骨格性反対咬合で顎矯正手術適応と診断された患者様（約30名程度）です。

<この研究の実施内容・方法>

本研究は後ろ向き研究（既存データを用いる研究）であり、新たな検査・撮影・採血などは行いません。研究で用いる資料は、

- 1) 側貌セファログラム（横顔のレントゲン写真）
 - 2) 必要最小限の診療録情報（性別・年齢・骨格指標など）
- です。

研究者は、仮名化された画像から上唇・下唇・鼻・オトガイ部など、横顔に関連する項目を計測し、片側性唇顎口蓋裂のある反対咬合と、片側性唇顎口蓋裂のない反対咬合の違いを解析します。

<ご協力いただく事項>

患者様に行っていただくことは特にありません。

カルテおよび画像情報を仮名化した上で研究に使用させていただきます。

<研究期間>

本研究の研究期間は、2026年3月2日～2030年3月31日です。

3. 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

本研究では既存の診療記録のみを用いるため、新たな負担・リスク・不利益は一切ありません。

また、研究に参加したことで得られる直接的な利益はありませんが、研究結果は将来の治療方針決定に役立ち、矯正歯科医療の発展に貢献する可能性があります。

4. 個人情報等の取扱い

使用する情報は、試料・情報管理責任者が氏名、生年月日、カルテ番号などを削除し、研究IDに置き換える形で仮名加工した後に研究者へ提供します。研究者が個人を識別できることはありません。

<試料・情報の保管方法とその期間>

研究データは、試料・情報管理責任者の管理のもと、追跡可能情報の対応表については矯正歯科所蔵のハードディスクに保管のうえ、千葉歯科医療センター医局の鍵のついている保管庫に保存いたします。仮名加工情報として計測に用いた資料についても、同様に別の鍵付きの保管庫に対応表とは別に保存いたします。研究後の解析および統計データおよび対応表等は研究終了後5年間保存いたします。

<試料・情報の廃棄方法とその期間>

保管期間終了後、データ消去（復元不可能な方法）により破棄します。

5. 研究に関する情報公開の方法

<研究計画書の開示>

研究対象者の求めに応じて、個人情報に関わる部分を除いた研究計画書の閲覧・提供が可能です。

<研究成果の公表>

- ・学会発表（日本口蓋裂学会、日本矯正歯科学会など）
- ・学術論文（The Cleft Palate Craniofacial Journal、Clinical and Investigative Orthodontics など）にて公表予定です。

公表に際して、患者様個人が特定される情報は一切使用しません。

6. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

7. 費用等に関すること

本研究に参加いただくにあたり、患者様に新たな費用負担はございません。また、謝金のお支払いはありません。

8. 利益相反について

本研究は歯科矯正学講座の研究費で実施されており、企業等からの資金提供や影響はありません。

9. 将来の研究のために今回得られた情報を用いる可能性について

本研究で得られたデータを将来別の研究で利用する可能性があります。その場合は新たに倫理審査委員会の承認を得たうえで使用します。研究データは前述のとおり厳重に管理し、個人が特定されることはありません。予定されている研究内容や実施される際にその研究についての情報を確認したい場合には、下記のお問い合わせ先までご連絡いただければご説明いたします。

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡ください。

お問い合わせ先

東京歯科大学歯科矯正学講座

研究責任者：石井武展

試料・情報管理責任者：森川泰紀

連絡先 〒261-0011

千葉県千葉市美浜区真砂1丁目2-2

東京歯科大学千葉歯科医療センター矯正歯科

電話番号 043-270-3915